地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	中野・丸田 (中野、丸田)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	58.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	51.9 ha
② 田の面積	11.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	45.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.3 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は、鎮西町の北部に位置する中野地区と丸田地区で構成され、どちらも多面的機能支払制度を活用した組織があり、農地周辺の環境整備を行っている。

【中野】
過去の基盤整備事業により農地は耕作しやすいが、傾斜のある農地も多い。畑地では地域外からの入作もあり、葉タバコが3分の1程度占めているが徐々に減ってきている。

【丸田】
農地の割合は、水田より畑地の方が多く、国道204号線を境に北部では畑作、南部では稲作を中心に行われている。地区内に2名の認定農業者がおり、50a以上の規模で耕作を行っている者も数名いる。
共通の課題として、農業者の高齢化と人手不足が深刻化している。また、農業を続ける中でイノシシを見かけない日はなく、人慣れした個体も多い。

【地域の基礎データ】
農業者:37人(認定農業者:7人、利用者:30人)
作物:水稲、飼料作物、葉タバコ、野菜

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水田における主食用水稲や畑地の野菜は、現在の耕作者が引き続き行い離農時には、地区内外の農業者に農地耕作が承継されるように努める。また、赤土に適した新規作物の模索を行いながら農業が継続できるよう地域で検討する。
イノシシ被害対策として、地域内に鳥獣駆除員がいるので今後も補助員を輩出し、地域一体となって捕獲活動の強化を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
離農や規模縮小のタイミングで、現在の担い手への農地の集積・集約化を行い、並行して担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用者による農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	6 %	将来の目標とする集積率	6 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手となる農家を中心に集約化を進め、目標集積率の達成を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
現在の担い手及び利用者が継続的に耕作を行うこととし、離農時には地区内外から耕作者を募り、貸借や承継による集積、集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域で見ると利用する予定のない者が多いため個人の判断に委ねるものとするが、規模拡大や耕作利便向上のための農地貸借を実施する際は、積極的に活用する。
(3)基盤整備事業への取組
多面的機能支払事業を活用しながら、農道清掃や水路の機能回復・改善計画を検討し実施していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域外からの入付に関しては、水田は水利問題もあるため検討を重ねる必要があるが、畑地については荒廃化が進まぬよう積極的に受け入れたい。後継者の育成よりも、地域内外の受け入れ可能な認定農業者等へ耕作を承継できないか検討・調整を進める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域としての活用方針はないが、現状の意向は利用しない者の割合が多いものの人手不足のため、状況に応じて活用も視野に入れながら検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①補助員活動を継続するために、講習会等があれば積極的に参加するよう努める。
 ⑩地域計画及び目標地図の変更が必要となる場合は、適宜協議の場を設置することを基本とするが、住民負担の軽減を図るため、回覧板等を活用して変更案の内容協議や意見の取りまとめを行うなど、簡易な方法による協議を行うことができるものとする。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稲、WCS用稲、飼料作物	0.1 ha	0 ha	水稲、WCS用稲、飼料作物	0.1 ha	0 ha	1	
認農			0.7 ha	0 ha		0.7 ha	0 ha	2	
認農		水稲、たばこ	0.6 ha	0 ha	水稲、たばこ	0.5 ha	0 ha	3	
認農		葉たばこ	1.2 ha	0 ha	葉たばこ	0.8 ha	0 ha	4	
認農		水稲、キャベツ、ブロッコリー、キャベツ	0.4 ha	0 ha	水稲、キャベツ、ブロッコリー、キャベツ	0.4 ha	0 ha	5	
認農			0.4 ha	0 ha		0.4 ha	0 ha	6	
認農			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	7	
利用者		水稲、葉たばこ、甘藷	0.9 ha	0 ha	水稲、葉たばこ、甘藷	1.3 ha	0 ha	8	
利用者		いちご	0.3 ha	0 ha	いちご	0.3 ha	0 ha	9	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	10	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	11	
利用者		水稲、野菜	0.1 ha	0 ha	野菜	0.1 ha	0 ha	12	
利用者		水稲、野菜	1.8 ha	0 ha	野菜	0.6 ha	0 ha	13	
利用者		水稲、いちご	1.1 ha	0 ha	水稲、いちご	1.1 ha	0 ha	14	
利用者		水稲	0.1 ha	0 ha	水稲	0.1 ha	0 ha	15	
利用者		水稲、玉ねぎ	0.9 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	16	
利用者			0.3 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	17	
利用者		水稲	0.4 ha	0 ha	水稲	0.2 ha	0 ha	18	
利用者		水稲	1.3 ha	0 ha	たばこ	0.2 ha	0 ha	19	
利用者		いちご	1 ha	0 ha	いちご	1 ha	0 ha	20	
利用者			0.4 ha	0 ha		0.4 ha	0 ha	21	
利用者			0 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	22	
利用者			0 ha	0 ha	水稲、葉たばこ	4.6 ha	0 ha	23	
利用者		野菜	0.6 ha	0 ha	野菜	0.6 ha	0 ha	24	
利用者		水稲、花き	0.4 ha	0 ha	花き	0.2 ha	0 ha	25	
利用者		水稲、花	0.6 ha	0 ha	水稲、花	0.6 ha	0 ha	26	
利用者		葉たばこ	1.1 ha	0 ha	葉たばこ	1.1 ha	0 ha	27	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	28	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	29	

利用者		0.3 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	30	
利用者		0.2 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	31	
利用者		4 ha	0 ha		3 ha	0 ha	32	
利用者	苺苗床	0.2 ha	0 ha	苺苗床	0.2 ha	0 ha	33	
利用者	芋	0.2 ha	0 ha	芋	0.2 ha	0 ha	34	
利用者	たばこ	0.1 ha	0 ha	たばこ	0.1 ha	0 ha	35	
利用者		0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	36	
利用者	水稻	0.2 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	37	
計		20.5 ha	0 ha		20.5 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。